

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

フェアトレードを推進し、まちぐるみで応援、実行していくための様々な取り組みを通して、貧困、環境問題など世界の様々な問題・課題を市民の力で解決することを目指す。

<SDGsに関する重点的な取り組み及び指標>

三側面 (分野に◎)	SDGsに関する重点的な取り組み	指標
◎環境 ◎社会 ○経済	原料の生産から、輸出入、加工、製造全ての工程で、差別や児童労働の禁止、土壌・水源・生物多様性の保全等、国際フェアトレード基準が守られている商品の販売、利用普及を行っている。	熊本市内のフェアトレード取扱店の一覧表を作り、そうして確認できた店舗数を2倍に増やす。(2019年:98店舗→2023年200店舗) フェアトレードに関するミュージアムを併設する。
○環境 ◎社会 ○経済	様々なステークホルダーと連携してフェアトレード商品の販売、利用促進を行う。	月に一度、市内各地のお寺でフェアトレードをテーマとしたワークショップに出店する。その他イベントに積極的に出店する。
◎環境 ○社会 ◎経済	海洋プラスチック削減に向けたバイオプラスチックを原料とするタンブラー及びアグロフォレストリーで栽培されたコーヒー等、生物多様性を守るための環境にやさしい商品の販売、普及促進に取り組んでいる。	タンブラーを300個販売する。 アグロフォレストリーで栽培されたコーヒーを900杯分販売する。

<パートナーシップ>

行政(熊本県、熊本市)、議会(熊本市議会)、県内外各地の学校、企業、市民団体、市民等と連携し、まちぐるみでフェアトレードを応援、実行する。

- ・「SDGsに関する重点的な取り組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取り組みを記載してください。なお、取り組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取り組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。